

令和7年度 地方独立行政法人さんむ医療センター
第2回理事会 会議録（概要）

第1 開催日時及び場所

令和7年5月26日（月） 16時00分～16時45分
さんむ医療センター 中会議室

第2 出席者

【理事】

坂本 昭雄（理事長）、篠原 靖志（院長）、井上 純子（看護部長）、鈴木 豊
（医療技術部長）、小川 雅弘（事務長）

【監事】

高橋 一嘉

【事務局】

新國 雅一（事務次長）、加瀬 智哉（経営企画室長）

【説明者】

海保 一利（経理課長）

第3 議事等

1 監査報告

○高橋監事から、令和7年4月分の例月出納検査における監査結果の報告があった。
・適正に処理が行われており、特段の指摘事項無し。

2 前回議事録の報告及び確認

○特になし

3 議事

（1）令和7年度医療機器の購入について

○海保経理課長から、令和7年度医療機器の購入について資料に基づき説明があった。

賛否について決が採られ、理事全員の承認を得た。

第4 その他（報告・協議等）

（1）経営状況及び経営改善について（坂本理事長）

○現在の経営状況はかなり悪くなっているため、経営改善計画をしっかりと策定していく必要がある。

・委託業務の内容を見直した場合、効果がどれだけあるのか示してほしい。

（2）電子処方箋導入について（篠原理事）

○国が推進する医療DXの一環として、電子処方箋の導入が進められている。医師のキャリア形成や感染症流行期などにも非常に有用である。登録手続きについて丁寧に説明し、HPKIカードの取得申請を早めに行うこと。

坂本理事長から、申請手続きを事務方でフォローすること。

(3) 医師の働き方改革と業務の負担軽減について（篠原理事）

○外来医師の業務負担軽減が喫緊の課題であると考えられる。外来診療が効率化されれば、患者の待ち時間も短縮される。

(4) 多職種連携における記録の課題について（篠原理事）

○入院外来患者に関する様々な情報を、多職種で共有し、記録を残す必要がある。多職種が関わる患者カンファレンスなど、会議記録の作成方法が課題となっている。

以上